

PM

令和2年度
プロジェクトマネージャ試験
午後II 問題

試験時間 14:30 ~ 16:30 (2時間)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1, 問2
選択方法	1問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B又はHBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2問とも○印で囲んだ場合は、はじめの1問について採点します。

〔問2を選択した場合の例〕

選択欄	問1	問2
	1問選択	

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“論述の対象とするプロジェクトの概要”の記入方法

論述の対象とするプロジェクトの概要と、そのプロジェクトに、あなたがどのような立場・役割で関わったかについて記入してください。

質問項目①は、プロジェクトの名称を記入してください。

質問項目②～⑦，⑪～⑬は、記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲み、必要な場合は（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は、該当するものを全て○印で囲んでください。

質問項目⑧，⑩，⑭及び⑮は、（ ）内に必要な事項を記入してください。

質問項目⑨は、（ ）内に必要な事項を記入し、記入項目の中から該当する記号を○印で囲んでください。

問1 未経験の技術やサービスを利用するシステム開発プロジェクトについて

プロジェクトマネージャ（PM）は、システム化の目的を実現するために、組織にとって未経験の技術やサービス（以下、新技術という）を利用するプロジェクトをマネジメントすることがある。

このようなプロジェクトでは、新技術を利用して機能、性能、運用などのシステム要件を完了時期や予算などのプロジェクトへの要求事項を満たすように実現できること（以下、実現性という）を、システム開発に先立って検証することが必要になる場合がある。このような場合、プロジェクトライフサイクルの中で、システム開発などのプロジェクトフェーズ（以下、開発フェーズという）に先立って、実現性を検証するプロジェクトフェーズ（以下、検証フェーズという）を設けることがある。検証する内容はステークホルダと合意する必要がある。検証フェーズでは、品質目標を定めたり、開発フェーズの活動期間やコストなどを詳細に見積もったりするための情報を得る。PM は、それらの情報を活用して、必要に応じ開発フェーズの計画を更新する。

さらに、検証フェーズで得た情報や更新した開発フェーズの計画を示すなどして、検証結果の評価についてステークホルダの理解を得る。場合によっては、システム要件やプロジェクトへの要求事項を見直すことについて協議して理解を得ることもある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった新技術を利用したシステム開発プロジェクトにおけるプロジェクトとしての特徴、システム要件、及びプロジェクトへの要求事項について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたシステム要件とプロジェクトへの要求事項について、検証フェーズで実現性をどのように検証したか。検証フェーズで得た情報を開発フェーズの計画の更新にどのように活用したか。また、ステークホルダの理解を得るために行ったことは何か。800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた検証フェーズで検証した内容、及び得た情報の活用について、それぞれの評価及び今後の改善点を、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

問2 システム開発プロジェクトにおけるリスクのマネジメントについて

プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクトの計画時に、プロジェクトの目標の達成に影響を与えるリスクへの対応を検討する。プロジェクトの実行中は、リスクへ適切に対応することによってプロジェクトの目標を達成することが求められる。

プロジェクトチームの外部のステークホルダは PM の直接の指揮下にないので、外部のステークホルダに起因するプロジェクトの目標の達成にマイナスの影響がある問題が発生していたとしても、その発見や対応が遅れがちとなる。PM はこのような事態を防ぐために、プロジェクトの計画時に、ステークホルダ分析の結果や PM としての経験などから、外部のステークホルダに起因するプロジェクトの目標の達成にマイナスの影響を与える様々なリスクを特定する。続いて、これらのリスクの発生確率や影響度を推定するなど、リスクを評価してリスクへの対応の優先順位を決定し、リスクへの対応策とリスクが顕在化した時のコンティンジェンシ計画を策定する。

プロジェクトを実行する際は、外部のステークホルダに起因するリスクへの対応策を実施するとともに、あらかじめ設定しておいたリスクの顕在化を判断するための指標に基づき状況を確認するなどの方法によってリスクを監視する。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトにおけるプロジェクトの特徴と目標、外部のステークホルダに起因するプロジェクトの目標の達成にマイナスの影響を与えると計画時に特定した様々なリスク、及びこれらのリスクを特定した理由について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた様々なリスクについてどのように評価し、どのような対応策を策定したか。また、リスクをどのような方法で監視したか。800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたリスクへの対応策とリスクの監視の実施状況、及び今後の改善点について、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

[× 毛 用 紙]

[メモ用紙]

[メモ用紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) **問題文の趣旨に沿って解答してください。**

(2) 解答欄は、“論述の対象とするプロジェクトの概要”と“本文”に分かれています。“論述の対象とするプロジェクトの概要”は、2ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。**項目に答えていない又は適切に答えていない場合（項目と本文のプロジェクトが異なる、項目間に矛盾があるなど）は減点されます。**

(3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800字以内

・設問イ：**800字以上** 1,600字以内

・設問ウ：**600字以上** 1,200字以内

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間中に退室する場合は、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ~ 16:20
--------	---------------

8. **問題に関する質問にはお答えできません。** 文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。

10. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限ります。

なお、会場での貸出しは行っていません。

受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

これら以外は机の上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。なお、試験問題では、™ 及び ® を明記していません。

©2020 独立行政法人情報処理推進機構